



えんせきがいせんゆうせつそうち

遠赤外線融雪装置の試験運用を開始します

金沢河川国道事務所では、過去に降雪による立ち往生車両が発生した国道8号
河北郡津幡町坂戸付近において、降雪時に路面の雪を融かす『遠赤外線融雪装置』を試験導入しました。

当該装置の効果等を確認するため、次のとおり試験運用を実施します。

また、試験運用開始に先立ち、報道関係者の皆様に装置の説明会を開催します。

<試験運用概要>

- ・試験期間：令和5年1月20日（金）～令和5年2月28日（火）
- ・実施場所：国道8号河北郡津幡町坂戸付近
- ・内 容：別紙参照

<説明会概要>

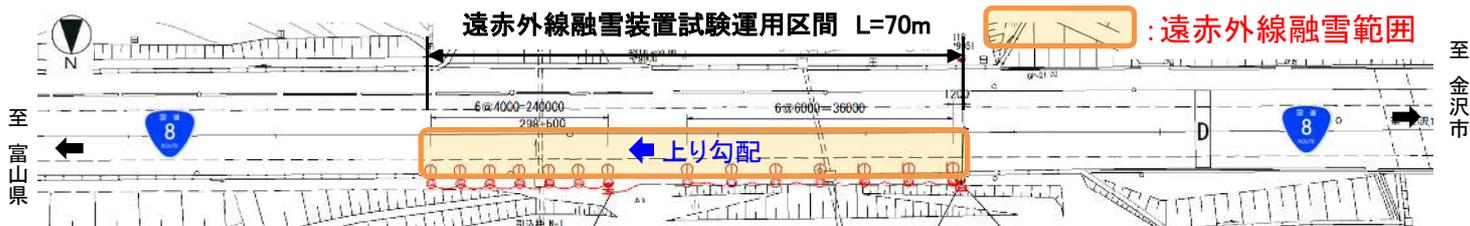
- ・日 時：令和5年1月20日（金）15:00～ ※装置の説明を予定（1時間程度）
- ・集合場所：別紙参照



写真 立ち往生車両発生状況



位置図



お問い合わせ先

金沢河川国道事務所 副所長（道路） きたで かずまさ 北出 一雅
 さいねん
 住所：金沢市西念4丁目23番5号
 電話：076-264-8800（代表）

【事業概要】

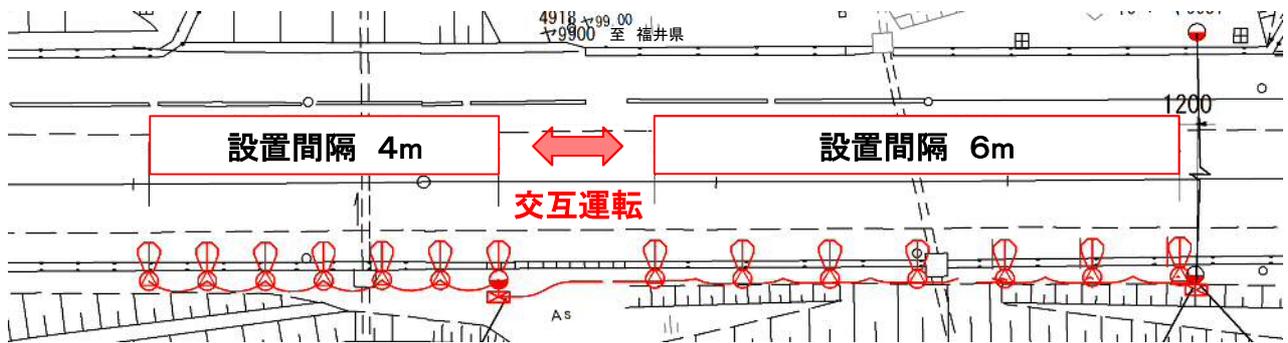
- 今回の試験運用区間は、国道8号の石川・富山県境部に位置する上り勾配区間であり、降雪時に車両の登坂不能による立ち往生が発生した箇所において、遠赤外線融雪装置による路面の融雪効果を確認します。
- 令和4年度は融雪装置の試験運用および融雪効果の調査（データ収集）を実施し、令和5年度に融雪装置の効果検証を予定しています。

◎整備と運用のイメージ

・遠赤外線融雪装置のイメージおよび設置状況



・遠赤外線融雪装置の概要



【融雪装置の運用について】

- (1) 設置間隔が異なる2パターン(4mと6m)を交互に稼働させ、路面の融雪効果を確認
- (2) 路面積雪センサーと外気温センサーで融雪装置を稼働させ、路面の融雪効果を確認

集合場所（河北郡津幡町坂戸地先）

